

年末年始無災害運動

年末年始は死傷労働災害が増加する傾向にあります。特に、積雪・凍結による転倒、交通事故、墜落災害が多くなってきます。年末事故を起こさぬよう、今まで以上に気を付けなければなりません。

実施期間：平成 30 年 12 月 15 日～平成 31 年 1 月 15 日までとする。

作業を始める前に、入念な打ち合わせ（ヒヤリハット）をし、以下の項目のチェックもしていきましょう。

- ① 現場、作業場を含めた作業方法の確認
- ② 機械設備・道具等の点検
- ③ 服装点検（ヘルメット・滑りにくい靴の着用）
- ④ 悪天候時の対応と、避難場所の確認
- ⑤ 社用車運転操作の徹底（スピード出さない・スタッドレスタイヤの着用）

安全第一、無事故無災害で、新しい年を迎えましょう！

学ぶことは真似ること

「学ぶことは真似ること」という言葉をご存知でしょうか。“上手くなりたければ、上手い人の真似をすればいい” 言葉では単純ですが、上手いくとは限りません。

行動を起こす前に、先ず真似したいと思った人の、「何を目的としてその行動をとっているのかに注目する」さらに、「行動ではなく考え方を真似る」ことが、真似したことを自分のものにするために不可欠なことと言われるのです。つまり、行動より考え方や何を目指していたかを知るために必要なことは、“自分自身が多くの考え方を知ること” と言えるのではないのでしょうか。そこで、「個性」を発揮するためには、真似ることを繰り返し、そこに「創造性」を加えていく必要があります。そのためには、「守・破・離」と呼ばれるように、まずは基本を「守った」上で、学んだ基礎を「破り」、オリジナリティを出すためにその場から「離れていく」といった過程を巡っていくことが不可欠と言われます。そして、そのためには「早く成功しようとしないう」「地道な努力を積み重ねる」ことが大事と言われます。

「守」とは、初心者が熟練者の教えを忠実に守り再現して見ることです。

「破」とは、熟練者から教わった基礎の上に、自分なりの改良を加えることです。

「離」とは、熟練者の教えから離れ、独自の方法を編み出すことを言います。

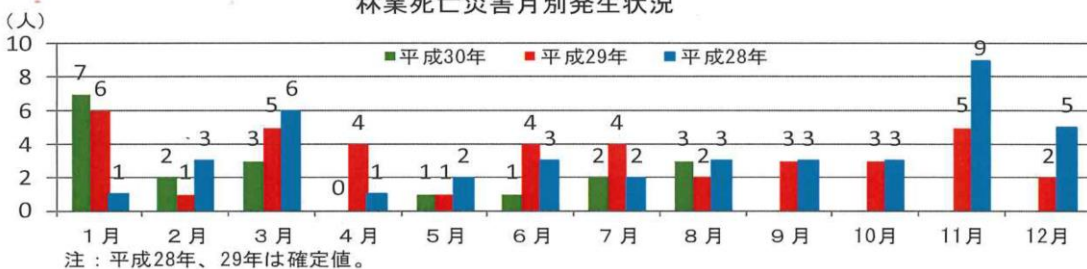
「守」がしっかり出来る作業員を目指し指導し、自分の力で解決出来るようにしましょう。

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

今月の一言
感謝の心が人を育て、
感謝の心が自分を磨く

林業死亡災害月別発生状況



本年もこれから伐採作業が本格化しますが、引き続き、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」等に基づき、チェーンソーを用いた伐木・造材作業における防護衣等の着用と適切な作業の実施等にご留意いただくようお願いします

災害事例報告